



西堀小だより

5月号 令和4年5月2日発行

児童数 343名

新座市西堀2-18-3

TEL 042 (491) 6671

FAX 042 (495) 8848

【校訓】

禮儀(れいぎ) 質朴(しつぱく) 自治(じち)

【教育目標】

やさしく かしこく たくましく

5月



『西堀小 にじ プロジェクト』にご協力ください

校長 鈴木 勝

木々の緑が鮮やかに映える季節となりました。新学期が始まり1ヶ月が過ぎましたが、1年生の子供たちは学校にすっかり慣れ、元気に生活しています。また、2年生から5年生は、新しい学年・学級でやる気溢れる姿で学校生活を過ごしています。6年生は、小学校生活最後の年になります。5月27日には新座市総合運動公園での全校遠足が予定されています。縦割りグループのリーダーとして活躍することを期待するとともにたくさんの思い出をつくってほしいと思います。

先日は、授業参観・懇談会へのご参加ありがとうございました。新型コロナウイルス感染防止のため参観人数を制限させていただきましたが、多くの保護者の皆様にタブレット端末等、ICTを活用した授業を見ていただきました。いかがでしたでしょうか。今後も、新学習指導要領に基づいた子供たちの資質・能力の育成に向けて、ICTを最大限活用し、これまで以上に「個別最適な学び」と「協働的な学び」を推進してまいります。

学校便り4月号でお知らせしたとおり、『西堀小 にじ プロジェクト』について説明いたします。

近年では、科学技術の革新、グローバル化の進展など、教育を取り巻く環境は大きく変化しており、コロナ禍に伴う新しい生活様式への転換も重なり、数年前には予想だにできなかった状況が続いています。そんな予測が困難な未来に送り出すことになる子供たちのために、私たちはできる限りのことをしなければならぬという思いを抱いて、昨年度1年を駆けまして、『西堀小 にじ プロジェクト』を策定いたしました。

『西堀小 にじ プロジェクト』は、新学習指導要領が目指す「社会に開かれた教育課程」を具現化するものです。簡単に言いますと、目標や身につけさせたい力、目指す児童像などを学校と保護者・地域が共有して、教育活動を進めていくことです。そのためには、目指す方向性を示すとともに、それぞれの立場で具体的にどのような関わりをもっていただくのかを分かりやすくする必要があります。

下の図をご覧ください。知・徳・体3つの学校教育目標に合わせて、どんな力を育成していくのかを「目指す児童像」に示し、その達成に向けて、学校(教職員)・児童本人・家庭(保護者)・地域の皆様がそれぞれの立場で行うことを明確にした図です。この図からもわかるように、学校と地域の垣根を越えて、社会総がかりで、西堀小の子供たちを育もうというのが、このプロジェクトの趣旨になります。またプロジェクトの取組項目の中の家庭・地域の欄をご覧ください。特別に難しいことでなく、日頃からご協力いただいていることが書いてあると思います。そして、そのことが、学校教育とどうつながり、どんな力を育むのかも分かると思います。このことにより、地域での取組が意味を持つとともに、教育効果が2倍にも3倍にもなることを考えています。

私ども教職員は、保護者・地域の皆様のご協力をいただき、ともに手を携えて、子供たちを伸ばしていきたいという考え方を持っています。西堀小に通わせて良かったと思っていただけるよう、これからも教職員全員で努力してまいりますので、皆様一人一人も『西堀小 にじ プロジェクト』にご協力いただければ幸いです。



(1年生 交通安全教室より)

令和4年度



西堀小 にじ プロジェクト

新座市立西堀小学校

目指す児童像	学校の取組	児童の取組	家庭の取組	地域の取組
やさしく 仲よく助け合い 思いやりのある子の育成 	1 児童一人一人の心を大切に、プラス思考の支援を学級経営の柱として温かな人間関係を育てます。 2 互いを認め励ます支援を通して思いやりの心を育てます。	1 友達や仲間を大切に、仲間を思いやるあたたか言葉をたくさん使います。 2 相手の目を見て自分から進んであいさつや返事を言います。	1 公共のマナー、礼儀作法やルールを身につけさせます。 2 ゲームやスマホの約束を決め、家族の対話の時間を作ります。	1 登下校時などの見守りを通して、あいさつの大切さを伝えます。 2 自らが手本となり、ルールを守る等、規範意識を高めます。
かしこく よく聞き進んで 考える子の育成 	1 学び合いや言語活動の充実を通して、思考力・判断力・表現力を育てます。 2 ICT等を活用し、学び意欲を引き出し、誰一人取り残すことのない学びを実践します。	1 自ら課題を見つけ、進んで学習に取り組みます。 2 計画的に時間を定め、諦めず最後まで粘り強く学習に取り組みます。	1 努力の過程を認め、少しでもできたことを称賞します。 2 落ち着いて家庭学習ができる環境を整えます。	1 各教科等において、学習の支援に協力します。 2 地域の行事と学校の教育活動をタイアップさせて学びを広げます。
たくましく 心と体を粘り強く きたえる子の育成 	1 係活動や当番活動を通して、働く喜びや粘り強く取り組む力を育てます。 2 教育活動全体を通して、健康への意識やたくましい心と体を育てます。	1 目標を決めて最後まで粘り強くやり遂げます。 2 運動(スポーツ)を通して、心と体を鍛えます。	1 早寝早起き朝ごはんを励行し、規則正しい生活が送れるようにします。 2 家庭での役割分担やお手伝いを決めて任せます。	1 地域スポーツ事業等を通して、チームワークや助け合う心を育みます。 2 地域で、様々な体験をする機会を増やし、主体的に行動できるよう声がけします。